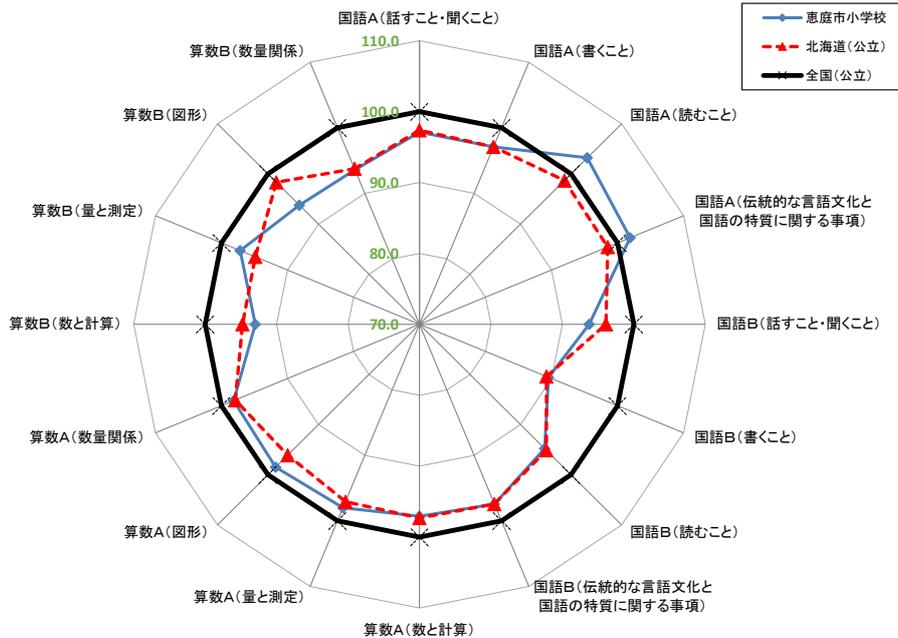


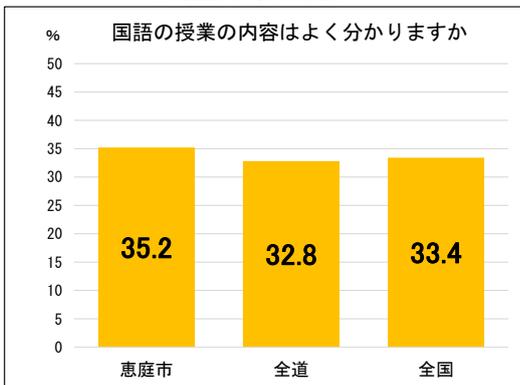
■ 恵庭市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、児童数:657名)

【教科全体の状況】

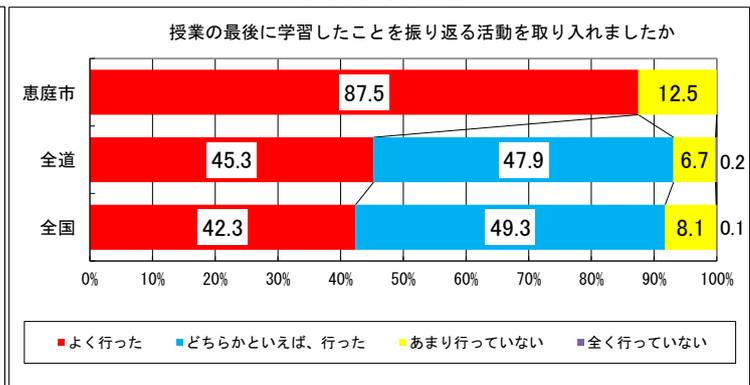
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは「量と測定」「図形」「数量関係」、算数Bでは「量と測定」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、授業の最後に振り返りの活動を取り入れたこと等により、学習内容の理解が進み、国語の授業内容がよく分かる児童が多くなり、基礎的・基本的な知識が身に付いていると思われる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業の内容がよく分かったと回答した児童の割合が全道、全国より高い。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を、計画的に取り入れた学校の割合が全国より高い。 	

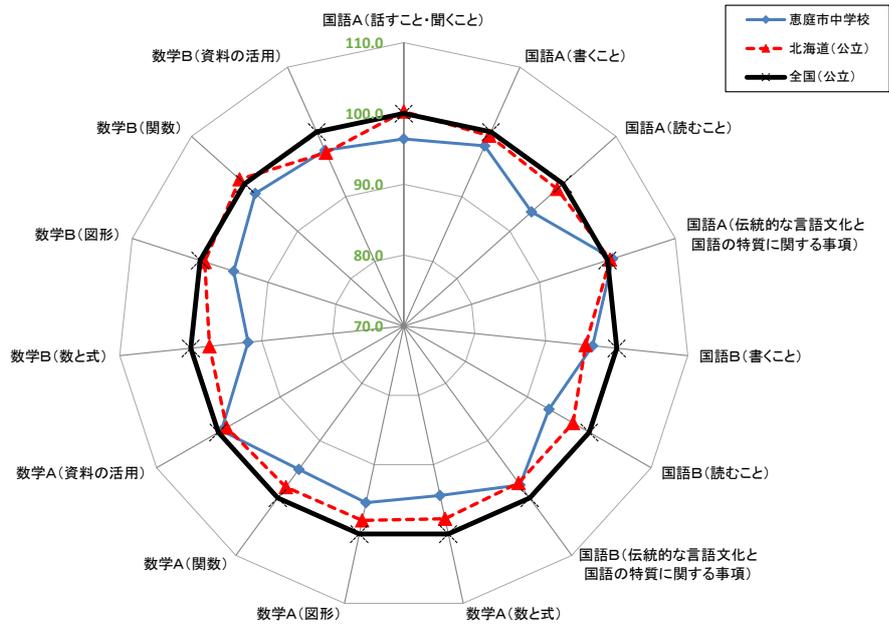
【恵庭市の学力向上策】

- ◎ 学校教育指導主事を中心に教育局と連携した学力向上対策の推進
- ◎ 教職員の指導力向上に向けた指導助言の充実
- ◎ ICT機器の整備や教職員への研修の実施
- ◎ 全児童の家庭への「家庭学習の手引」の継続配布

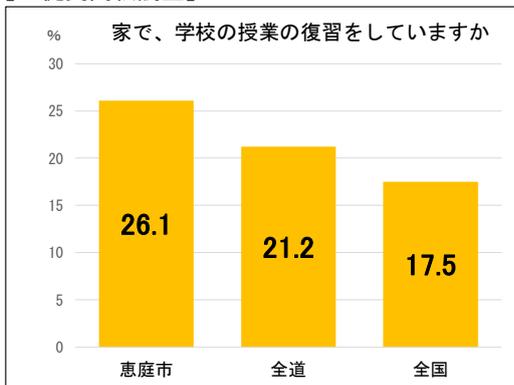
■ 恵庭市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、生徒数:606名)

【教科全体の状況】

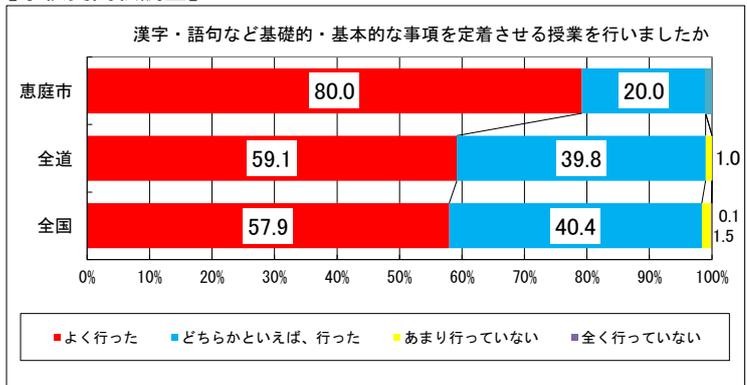
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは「資料の活用」で全国とほぼ同様である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、漢字や語句などの基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行ったこと等により、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の力が高まっていると思われる。また、学校の授業の復習をしている生徒が増えており、家庭学習の習慣が、身に付いてきている傾向が見られる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で、学校の授業の復習をしている生徒の割合が全国より高い。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字・語句などの基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行った割合が全国より高い。 	

【恵庭市の学力向上策】

- ◎ 学校教育指導主事を中心に教育局と連携した学力向上対策の推進
- ◎ 教職員の指導力向上に向けた指導助言の充実
- ◎ ICT機器の整備や教職員への研修の実施
- ◎ 全生徒の家庭への「家庭学習の手引」の継続配布